



ひよこぐみだより



第12号

3月10日（木）発行

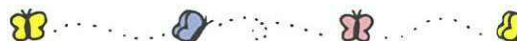
あっという間に月日が過ぎ、今年も最後の月となりました。入園してきた頃を考えると心も体もぐーんと大きくなった子どもたち。一人ひとりの成長した姿がまぶしく、うれしく感じる日々です。1歳児の部屋に遊びに行ったり、自分でやりたい気持ちを大切にしながらゆっくと進級に向けています。

ひなまつり



3月3日のひな祭りでは、5歳児の子どもたちが踊りを見せに来てくれました。ひよこ組さんたちはじっと目を輝かせて見たり、歌に合わせて身体を揺らしたりしていました。

遊戯室のお雛様を見に行くと、指をさしたり「あった〜」「おっきーね」などの声が聞こえました。



ドドド ♪

月に1回ほど、有馬先生が来てくれてリトミックを行っています。初めのころは見て楽しむだけだった子どもたちも、ゾウやウサギになりきって身体を動かしたりリズムに合わせて鈴を鳴らしています。



友だちへの興味も広がっていき、関わって遊ぶことも増えてきました。一人の子の「あ、ブブー！」という声を聞きつけるとほかの子たちも窓の近くに集まって「えっ?」「ブーブ?」などと話をしています。



この成長多き大事な1年間、子どもたちと一緒に過ごし、保護者の方と成長を喜び合っていたことを本当に嬉しく思っています。子ども達の元気な笑顔にたくさんのパワーをもらい、1年間、楽しく過ごせました。これからも子ども達の成長を一緒に見守って行けたらと思います。

至らない点もあったと思いますが、保護者の皆様にはいろいろとご協力して頂き、本当にありがとうございました。



平成28年3月10日(木)

ひなまつりの日、たんぼぼぐみの子どもたちが、すみれ組の子どもたちが待つ部屋に入って来ました。男の子、女の子全員、手に桃の花を持ち、一緒に「おひなさま」のうたに合わせてとても嬉しそうに踊って見せました。すみれ組の子どもたちは、踊っているたんぼぼさんから、目を離さずにつこり笑って見ていました。

子どもの健やかな成長の願いを込めた温かいひなまつりのお祝いとなりました。



「先生、あのね…」

自分の思いや友だちの様子を、今までは、二語文や三語文で保育士に伝えに来る事が、多かったのですが、今は、保育士に食べた物や買いものに行った事、遊んだ事等を話しに来るようになりました。子どもの心の中の世界が豊かに広がっている事に喜びを感じます。又、ブロックや本の取り合いになった時も「どうしたの?」と聞くと自分がされた時は、「あっくんがした～」との返事が返って来たり、自分が取った時は黙ったりと面白いです。

食事前の手洗いや着替えの際は、「出来たかな?」と保育士が言葉をかけると「うん出来たよ」と自信満々の返事が返ってきます。

自分から言葉で表現しようとする子どもたちに育ちを感じます。保育士がよく聞くと、友だちと色々話をしているので面白いですよ。



大好きな絵本の紹介 「こぐまちゃんとどうぶつえん」 著 わかやま けん

きりんやぞう等の動物が大好きな子どもたち。自分の知っているきりんやぞうが絵本に出てくると「ぞうだよ」や「キリンさんおったね」「おさるさん抱っこやね」等と目を輝かせています。ペンギンの所では、絵本の真似をして顔を上にし、魚を食べる真似、口をぱくぱくさせて可愛いです。

お知らせ

3月の後半は、時々2歳児のクラスのちゅうりっぷ組に遊びに行くことがあります。

進級する保育室に少しずつ慣れ、大きくなるんだという、期待感を大切にしたいと思っています。

最後に…この1年間至らぬ点多々あったと思いますが、色々なお願いごとに協力して下さいありがとうございました。

すみれぐみ一同

1歳児担任…今丸、唐木、草場



☆ひなまつり

3月3日のひなまつりの前日に「明日は女の子のお祭りだからお雛様みたいにかわいいスカート履いてきていいよ。」と話していました。そのことを家に帰ってお家の方へ伝える子どもも多かったようです。そして当日、女の子は嬉しそうに恥ずかしそうにスカート姿で登園していました。お互いに見せ合ったり、「かわいいね。」と言ったりしていました。ひなまつりの日には、「のぼるくんとかずこちゃんのひなまつり」という紙芝居を読みました。のぼるくんとかずこちゃんが布団や身の回りの物を使ってお内裏様やお雛様になるというお話です。読み終わると“私たちもお内裏様とお雛様になりたい”という声上がり、カラーポリ袋にシールを貼って衣装を作りました。男の子は早く着たいという気持ちが強くシール貼りもそこそこに衣装を着ていました。女の子はシールで上手に飾りつけて、かわいくしたいという気持ちが表れていて面白いなあと思いました。



☆この中で寝んねしとるん？

園庭の桜の木につぼみができています。子どもたちは“つぼみ”という歌が好きなので「これがつぼみだよ。」とそっとさわって実体験をしました。“つぼみの中でお花が寝んね”と歌いながら「この中にお花さん寝んねしとるん？」と驚きの表情を見せていました。

☆大きくなったね

園庭で三輪車で遊んでいた時のことです。三輪車に乗りたくて探していたMちゃん。ところがちょうどすみれ組の女の子も同じ三輪車を見つけ、取り合いになるかなと思って見ていました。するとすみれ組の女の子が乗りたいという気持ちを知り、Mちゃんは三輪車を譲り、後ろから押していました。年下の子どもたちを思いやる気持ちがクラス全体で育ってきたなあと感じています。

☆うれしいね

もうすぐ進級する子どもたち。「ランチルームでごはん食べるんよね。」と新しい場所で食事することや「お部屋が新しくなるんよ。」とこすもす組に進級することに期待で胸を膨らませているようです。

☆第12号☆（最終号）



平成28年3月10日（木）

暖かい春の陽ざしが感じられるようになってきました。4月当初は、以上児として初めての経験も多く、戸惑うこともあった子どもたち。友だちとのつながりも増え、トラブルになることもまだありますが、自分の思いだけでなく相手の気持ちにも気づき、お互いに助け合ったり、年下の友だちを気づかたりする暖かい場面も多くなりました。そんな子どもたちは、シール帳やカレンダーを見るたび、「4月になったらひまわりさんになるね！」と進級に向けて期待に胸を膨らませています。こすもすぐみでの生活も残すところあと少しとなりましたが、子どもたちと楽しく過ごしなが、育ちを支え、次へとつなげていけるようにしたいと思っています。

1年間、温かく見守っていただき、ありがとうございました。



こすもすぐみに春がきた♪

こすもすぐみのお部屋にちゅうりっぷと桃の花を飾っています。お花を飾った日には、まだまだ小さな蕾で子どもたちも「まだ寒いから蕾の中でお花がねんねしてるのかな。」「早く春が来たらいいいね!」と話していました。保育士が毎朝、花瓶の水を変えていると、「少し膨らんできたみたい」「もう少しで花が咲くかも」と植物の小さな変化に気づき、喜んでいました。

ポカポカと暖かい日が続いたある日、「先生、お花が喜んでる!」といちかちゃん。喜んでるってどういうことだろう?と思いお花を見ると、ちゅうりっぷの花が大きく花びらを広げていました。それを聞いたしおりちゃんも「ほんとだ! やっと春が来たね! ポカポカしてお花も嬉しいって!」と顔をほころばせていました。子どもならではのかわいらしい発想と表現に、春の暖かい日差しのように、私の心がほっこりと温かくなった出来事でした。

だいじょうぶ?

お部屋での自由遊びの時の出来事です。指にかすり傷ができたあいりちゃんが、痛そうに指を見つめていました。それを見たしづなちゃんが、そっと傍へ行き、「どうしたの? 指が痛いのか? しーちゃんが治してあげる」とあいりちゃんの指を優しくとり、フーフーと息を吹きかけていました。そんなしづなちゃんの優しさに、あいりちゃんは痛みも吹き飛んだようで、「ありがと!」と手をつなぎ2人で遊びに戻っていきました。この一年で、友だち同士、譲り合ったり助け合ったりするようになり、優しい心も育ってきました。



H28.3.10(木) 発行

～ものづくりの楽しさを味わって～

クラスに置いてある牛乳パックやトイレットペーパーの芯、広告紙を使ってあかりちゃんが何かを作っていました。あかりちゃんは何かを思いついたようで一人で切ったり貼ったりしてようやく出来上がり「見て！出来たよ！何でしょ？」とみんなに聞くと「携帯電話だ！」とみんなが周りに集まってきました。そしてすぐに「私も作ろう」「僕も！」とあかりちゃんに刺激されて、製作が始まりました。

それぞれが、こだわりをもって箱を選び色々なものを組み合わせながら作り始め、子どもたちは時間を忘れて楽しんでいました。それぞれに自分の思い入れがあるものが形となって出来上がっていくのを真剣な表情で、まるでものづくり名人のように感じられました。

出来上がったものを棚に並べて増えてくると、「お店屋さんごっこできるね！」「やろうよ！」と声上がり、子どもたちは作ったもので遊び始めました。自分たちでこだわりをもって作ったものは大切に扱いものへの愛着が生まれ、3月に入ってもお店屋さんごっこを楽しんでいる子どもたちです。



「ありがとう」春の花が届いたよ



ひな祭りの翌日の朝のことです。たっくんが「せんせい！なんか置いてあるよ！」「なんて書いてある？読んで！」とみんなに言われ、かいとくんが読み始めました。「お雛様からのお手紙だね！」「お礼をいーに行こう」と遊戯室へ。するとひな祭りにたんぽぽ組がたくさんお供えしたひなあられが半分にお酒が7分目になっているのに気づき、「誰かが食べてる」「おひなさま？」「せんせいが食べたん？」と、それぞれが思いを巡らせているとななみちゃんが「違う！見て、三人官女の持っているのが代わってる」「顔も少し赤いよ」など、興奮気味に話していました。

そして部屋に戻るとゆうかちゃんが、手紙と一緒に桃の花が置かれているのに気づき「ひまわりさんに春が届いてるよ！」と嬉しそうに伝えていました。子どもたちの想像する夢の世界を大切に守りながら、子どもの豊かな感性を広げる手助けをしたいとおもいます。

～お知らせ～

19日(土)の卒園式は4歳児も参加します。時間等につきましては、後日お知らせします。
(午前中のみ保育となりますので、よろしくお願ひします)

ひまわり組担任：河内、井上



H28. 3. 10 (木)

このたんぽぽだよりが最終号となりました。一年間を通して子ども達はみんなで助け合い励まし合って大木になる基礎をしっかりと固めてきました。

4 月当初は、「先生どうしたらいい??」「次は何をしたらいいかな?」と尋ねる事が多かった子ども達ですが、今では「私は〇〇がいいと思う。」と自主的にアイデアを伝えたり「その考えいいね!!」と共感する姿も見られ、子ども達の成長にただただ驚くばかりです。

今は、卒園式に向けて自分たちの考えを出し合い計画を立てています。どんな卒園式になるか楽しみなさってください。



『 素敵なひなまつり 』

今年のひなまつり会では、「女の子のお祝いをしよう!」と言う事になり、たんぽぽ組の男児だけで話し合い計画を立てました。女の子の素敵なおところを手紙に書いたり、みんなの好きな歌「きみの声」の替え歌などをプレゼントしました。女兒は、照れながらも「ありがとう」と思いを受け取っていました。女兒からお返しで男児の好きな虫を折り紙でおり一人ひとりにプレゼントしました。男児は受けとると大喜びですぐに虫で遊び始めました。その姿を見て女兒は「こんなに喜んでくれるなんて!プレゼントをして作ってよかったね。」と喜びを話していました。子ども達のこの姿をみて温かい気持ちになり思い出の残った「すてきなひなまつり」だと私の胸は一入熱くなりました。



たんぽぽ組の仲間たち



保護者の皆さんへ

この一年間で子ども達は一人ひとりがそれぞれに成長を見せてくれました。

保護者の皆様からもたくさんの温かいお言葉を日々頂きました。時には、皆様と一緒に悩み喜んだりしながら一緒に見守ることができ、心から感謝しております。

行き届かない事もあったかと思いますが一年間支えて下さった事に深く感謝いたします。

年長児担任： 中村 木山